



DAMANHUR

ダマヌール日本ニュースレター

ぽぽろ



POPOLO

秋号

《 第45 秋号 》

発行 ダマヌール日本
発行日 2018年10月20日
<http://www.damanhur.jp>

美しい海を取り戻そう ～プラスチック汚染から考える～



悲鳴をあげる地球

地球のいたるところで自然災害が多発し自然破壊が進行していますが、次々に現れる災害を伴う気候変動は、地球が自然のバランスを崩して悲鳴をあげているようです。自浄作用が働かなくなった地球がどうしたら調和を取り戻せるのか、どうしたら持続可能な未来に繋がるのでしょうか。

2018年6月にはタイ南部のマレーシア国境付近の海岸でオスの小柄なゴンドウクジラが死に、検視の結果、重さ8キロ、80枚のプラスチック袋がクジラの胃の中で見つかりました。救助中に5枚のプラスチック袋を吐き出したようで、袋を飲み込んだために栄養のある食べ物を摂取できなかったと指摘されました。

世界の海ではリサイクルされずに海に流れついたプラスチックごみの被害が後を絶ちません。これは私たち人間が他の種を苦しめているのです。プラスチック汚染も世界各地で起きている自然災害も人

ごとではなく、人間を含めた地球上のさまざまな命の存在たちが生き残りに直面しています。プラスチック汚染の深刻さをみていきましょう。

表紙の写真はダマヌールの人類の神殿の中の大地の部屋に描かれた、地球の海の一場面です。

美しい海を取り戻したいと思いませんか？

プラスチック汚染

2018年6月8日～9日にカナダで開かれたG7シャルルボワ・サミットでは、さまざまな海の課題に関して国際社会に具体的な対策を呼びかける「健全な海洋及び強靱な沿岸部コミュニティのためのシャルルボワ・ブループリント」を採択しました。その中には海洋プラスチック汚染と海洋ごみについて生態系の脅威の緊急性、より資源効率的で持続可能なプラスチック管理への移行などが盛り込まれています。

さらに、自国でのプラスチック規制強化を進める「海洋プラスチック憲章」は英国、フランス、ドイツ、

カナダが署名をしましたが、米国と日本は署名をしませんでした。

国連環境計画の報告書(2018年6月)によると、使い捨てプラスチックごみをもっとも多く出しているのは中国で4千万トン(2014年)ですが、一人あたりの使い捨てプラスチックごみの発生量は、米国が第一位で45キロ、第二位は日本で32キロ。一人あたりの使い捨てプラスチックごみの多い国が署名を拒んだのです。

参加した国連のアントニオ・グテーレス国連事務総長は、「方向転換がない限り、2050年までに世界の海洋のプラスチック廃棄物の量は海で暮らす魚より多くなり、世界の海はいま『地球規模の緊急事態』に直面している」と語りました。

プラスチックの海洋汚染は主にインターネットで日々発信されています。回収されないレジ袋やペットボトルを始めとしたプラスチックは大量に海に流れ込み、長い間に紫外線や風や波の力などによって5mm以下のプラスチック片になります。それはマイクロプラスチックと呼ばれて漂い世界中の海で確認されているのです。

また、マイクロプラスチックは化学物質が付着しやすく、食物連鎖で環境全体を汚染する危険がもたれています。

私たちの日常を眺めてみると、食品包装、ペットボトル、文房具、家庭用電気製品、浴槽、自動車、アクセサリ、コンタクトレンズ、メガネ、洋服、食器、化粧品、介護・医療用品、照明器具、建材に至るまでプラスチックで溢れています。農業や漁業でも使われ、私たちはプラスチックの中で生きています。と言っても過言ではありません。

プラスチックは石油コンビナート内で、原油を精製する過程でできるナフサを使い、石油化学製品として発展してきました。しかし、自然界のものではないプラスチックは、細くなっても分解されることはないのです。

また、プラスチックはさまざまな可塑剤(注1)を使っています。可塑剤として一番多く使われているフタル酸エステル類は、国内で食品衛生法により乳幼児のおもちゃ等への規制(経口摂取を防ぐ)があり、各国の研究機関において生殖毒性、発がん性の可能性が指摘されています。内装材や建材、日用品などにも使われ、アレルギーやシックハウス症候群との関連も研究されており、私たちは常にそれらにさらされていると考えられています。そして、人の尿、羊水、空気中、水、食べ物からも検出された報告があります。

また、電気電子機器にも使われており、欧州連合・EUの化学物質規制では、2019年7月から電気電子機器に関して、鉛や水銀等と同様にフタル酸エステル類の4種類が使用禁止になる予定です。



© Hung-Hsuan Chao / Greenpeace

マイクロプラスチックとマイクロビーズ

海洋のマイクロプラスチックは海洋生物の生態系に悪影響を与えています。冒頭のクジラや魚貝類、サンゴやプランクトンに至るまで、餌と誤食してさまざまなプラスチック製品、そしてマイクロプラスチックやマイクロビーズを取り込んでいることが多数報告されています。マイクロビーズは、1mm以下の微細なプラスチック粒子で、洗顔剤、歯磨き粉などに含まれ、多くは「スクラブ粒」として洗浄を高めるために使われています。使用後は洗面所や風呂場から下水に入り、下水処理施設のフィルターを通過して、川や湖や海に流れ込みます。また、眼に入ると眼表面を傷つける恐れがあります。マイクロビーズは微細なため回収が不可能と言われており、欧米では規制が始まっています。成分表に、「ポリエチレン」「ポリエチレン末」「ポリプロピレン」などの記載があれば、それらはプラスチックです。

そして、世界中の飲み水(水道水やミネラルウォーター)はマイクロプラスチックやマイクロビーズの混入の危機にさらされています。

NPO「オーブ・メディア」の報告によると、2017年9月に行なった調査では、複数の国の水道水から多くの微細なプラスチックファイバーが検出されたそうです。2018年3月には、9カ国から集めた250本のミネラルウォーターのボトル入り飲料水の調査で、全体の93%からプラスチック粒子が検出され、1リットルあたり平均10個のプラスチック粒子が見つかったそうです。この報告を受けて、WHO(世界保健機関)は、ボトル入り飲料水に含まれるマイクロプラスチックの潜在的リスクを検証するようです。また、世界各地の海塩からも、プラスチック粒子が見つかったという報告があります。

(注1)ある材料に柔軟性を加えたり、加工をしやすくするために添加する物質。

マイクロプラスチックファイバー

最近では、フリースなどの化学繊維の衣類等を洗濯機で洗うと、マイクロプラスチックが大量に発生するという報告があります。化学繊維の布地はファイバー状（繊維状）のプラスチックで、「マイクロプラスチックファイバー」、「マイクロファイバー」と呼ばれます。

『イギリスの研究チームは、アクリル、ポリエステル、綿-ポリエステル混合の3種類の化学繊維の服を家庭用の洗濯機で洗い（通常想定される6kgを洗濯）、どのくらい繊維が放出されるかを調べました。その結果、アクリルがもっともファイバーを放出し、1回の洗濯で73万本の化学繊維を放出していました。これは綿-ポリエステル混合の約5倍、ポリエステル約1.5倍に相当します』（注2）

洗濯によって放出されたマイクロプラスチックファイバーの多くは、家庭の下水から下水処理施設を通過して川や海に入ります。一方で下水処理施設で留まったマイクロプラスチックファイバーは沈殿して汚泥に紛れ、埋め立てなどに使われて海にも流れ込みます。雑巾やタオルとして売られているマイクロファイバー製品もエコ商品のアクリルタワシも同様に汚染源になります。

（注2）プラスチックの海より引用
<https://marineplastic.net/source/microplasticfiber>

プラスチック対策

日本は他国と比べて、プラスチックごみはきちんとリサイクルされていると思っている方が多いかもしれません。ペットボトルは回収されて、ユニフォームなどの繊維や新たなボトルに生まれ変わり、各自治体によりゴミの分別収集も行われています。

ところが再利用される他に、焼却されたり、廃プラスチック輸出業者を通してアジアへと輸出していました。焼却については、その熱が温水プールなどに利用されるので、それもリサイクルだという視点があるのです。

プラスチックごみをどうするか、どのように対応す



© Greenpeace / Gavin Parsons

るかは、国の事情や文化によっても異なります。アジアやアフリカの国々の中にはリサイクルができない現状もあります。

ノルウェーは国を挙げてのデポジット制度で、ペットボトルの回収率が97%になっています。プラスチック製造業者には環境税が課され、リサイクルすればするほど課税率が減る仕組みになっているそうです。オランダでは、この春にイギリスの環境団体「ア・プラスチック・プラネット」やオランダの「プラスチック・スープ財団」と協同で、アムステルダムに世界初となる一切プラスチックを使用しないスーパーマーケット「エコプラザ・ラボ」が期間限定でオープンしました。大きな反響を呼び、今後の期待されます。イタリアやベルギーはレジ袋の全面禁止、イギリスのペンザンスでは「プラスチックごみの出ない街」として草の根の運動を始め、すでに国内100箇所以上の自治体に広がっているそうです。



ダマヌール 夢とプロジェクトの発表

オランダの青年ボイヤン・スラット氏は、クラウドファンディング（注3）で2億5000万円を集めて海のプラスチックごみ回収プロジェクトを開始しています。それは16歳のダイビング中に、魚よりも多いプラスチックの袋に驚いたのがきっかけです。

ダマヌールでの行動はシンクロニックラインを通して世界に影響を与えるので、世界に先駆けてプラスチックごみを減らす取り組みが行われてきました。スーパー、バー、レストランでは、プラスチックボトルの水は売らずにガラス瓶に変えて、自分の水筒に水を移し替えて持ち歩くことから始めました。

さらに、インターネット上でプラスチック汚染の報告があつてからは、ダマヌールのあるバルキウゼツラ谷の自治体にリサイクルできるように分別ごみ収集を提案しました。そして、啓蒙活動として年に数回、ダマヌール市民と村人たちとで川や周辺に放置されたプラスチックごみの回収を行っています。この活動は2000年前半にビダラッコ村から始めて、周辺の村々にも呼びかけて実施しています。

（注3）不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す、群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語。

緊急課題

海洋はプラスチック汚染ばかりでなく、内分泌攪乱物質による汚染、海洋投棄された放射性廃棄物（1993年全面禁止）など多々あり、プラスチック汚染は一つの象徴的な例と言えます。

人間により作り出されたプラスチックは、地球環境を破壊するほどの勢いで増え続けています。特に、日本では一度しか使われない容器包装に多く用いられ、数時間後、数日後には破棄されることが多いのです。また、世界の平均的な海に比べると、日本はマイクロプラスチック密度が約20数倍高く、マイクロプラスチックの「ホットスポット」になっています。プラスチック製品が大量消費されていること、プラスチック排出量の多い東南アジアから海流によって運ばれることがあり、さまざまなプラスチック製品や

マイクロプラスチックが日本近海に漂い、さらに砂浜に流れ着きます。

私たちは、レジ袋が海のプラスチック汚染に繋がることは知っていても、胃の中がプラスチックで一杯になり苦しんで死んでいく動物の声は聞こえず、汚れた砂浜を想像できずに、人ごとのように思っているのではないのでしょうか？ 私たち人間の都合やエゴで、他の種を苦しめて命の危機に追い詰めている現状を直視し、何ができるか考えて行動しましょう。

また、私たちは綺麗に清潔に見えるように包装されたものを良しとする価値観があるのではないのでしょうか？ 一人一人が何が大切なのかという本質に立ち返り、ライフスタイルを見直していきましょう。一人一人から始まり、それが持続可能な未来へと繋がる大きな流れになっていくことを期待したいと思います。

いのち再考

ダマヌールでは、死は人生の一部であり魂の旅の通過点ととらえ、良く生きるためにも死について深く学んでいます。今号では、「看とり」を通した気づきをご紹介します。

旅立ちの時

この人生には始まりと終わりがある。この人生の終わりは、この人生の集大成であり、次に向かうための準備の始まりでもある。死により全てが消えてしまうのではない、と漠然と感じていた私がダマヌールを知ったのは、十数年前、パートナーが他界した数ヶ月後だった。

その後、私は、ダマヌールの系統だった論理的な考えを学び始めた。死を知るためには、人間とはなんぞや？ 宇宙とはなんぞや？ 構造は？ 法則は？ とそれ以前には全く知らなかったことを少しずつ学んでいく必要があった。そして学ぶにつれ、人間ってなんてすごい存在なんだ！という感動と、その魅力に興味を持つことになる。

開業医を始めて間もない約20年前、ある方の看取りに伺った時、そのお顔のあまりの神々しさに、思わず、「ありがとうございます」と深々と頭を下げていた。旅立ちの時に立ち合わせていただいたことに、ただ感謝していた。あの時の感覚はいまだに鮮やかに甦る。

古代では、死は神聖なものだった。古代の人々は死について現代の私たちよりはるかによく知っていた。知識があると不安が減る。準備もできる。サポートもできる。私はダマヌールのおかげで、多少なりともその知識を得ることができた。

体が弱ってきて、はっきりと言葉には出さないけれども、死に対する不安を感じている方に接する機会がある。恐れでいっぱいになっている方もいらっしゃる。その方の傍で、私は、肉体から離れたのちに何が起こるか？ どうしたらいいのか？ を語る。そして落ち着いていたら大丈夫だよ、と締めくくる。不思議なことに、その話をさせていただく間は、それまで苦しそうだった呼吸が落ち着いていたり、表情が穏やかになったり、閉じていた瞼が開いたりする。先日は、スーッと一筋の涙を流した方がいらした。意識がはっきりしていなかったその方にも、多分、言葉は届いたのだろう。

私たち誰にとっても大切な死に関する正しい知識。ダマヌールがもつ系統だった知識、私は多くの方に知っていただきたいと思う。（くおん）

ダマヌールのヒーリング プラノセラピー

プラノセラピーはダマヌールの自然医学の中でも基礎となる安全でパワフルなヒーリングです。

オーラ、肉体、魂の全てに良い影響を及ぼし、特にバランスの崩れている部分に集中して流れ、全体のバランスを取り戻します。体も心も美しく健康でいたい・スピリチュアルな成長がしたいという方に。寒暖の差が激しい季節の変わり目にプラノセラピーをお勧めします。

ぼぼろ43号では「プラノセラピー」について特集しています。

プラノセラピーは、神戸センターとイピアルの他、各地で受けられます。「体験会」も各地で開催しています。詳細は下記までお問い合わせください。

●プラノセラピーに関するお問合せ先

ダマヌール日本神戸センター

0798-23-9161

damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル

052-683-8233

jpjal@crux.ocn.ne.jp

ポポロのお祭り

ポポロの日を祝いました

ダマヌール創立10周年に(1986年)ダマヌールの精神的民族(ポポロ)が誕生しました。この民族は秘教的な知識や人生哲学を学びながら行動することで、精神的な進化をめざし、多種多様な生命が調和的に共存できる世界の実現をめざします。

また、共通の遺伝子による人種ではなく、ダマヌール哲学である、私たちの中核に宿っている創造主の部分の意識を覚醒させる新たな人種をアイデンティティーとします。

共通の理念を持って進化をめざすという価値観を共有する人なら、その人の意志に基づき民族に参加することができます。このチャンスは、人類の覚醒に向けた光のポイントになりたいと願う人たちに常に開かれています。あなたも参加しませんか？



また、年に一回、ダマヌール市民やその友人・知人、ダマヌール以外に住む精神的民族に参加している人たちが集まってポポロの日を祝い、自覚や絆を確認しあいます。日本では、2018年8月26日にダマヌールより一足早く「ポポロのお祭り」を開催しました。全国からポポロが参加できるように、東京と名古屋で同時に一緒に祝いました。東京では代々木公園で樹とコンタクトをし、名古屋では会場でセルフピックペインティングを観て、それぞれ受け取ったメッセージをシェアしました。参加した30名はポポロの自覚を確認し、共に歌い笑い語り合う時間を共有し楽しみました。



木の意識の活性化

木々との協働を願い、ダマヌールは「木の意識の活性化プロジェクト」を行っています。日本においても全国で展開中です。この活動は、望む人はどなたでも参加することができます。このほど、活動に参加された方からご感想を寄せていただきましたのでご紹介します。

セルフを握りしめて、初めて木の周りを巡った時のあのおごそかな気持ちと、それに反するような気恥ずかしさと、次にその木に会った時の馴染みの友と再会したような感じは忘れられません。古木を見上げた時は、何百年もの歴史を見続けてきたのだなあ、過去の世でも会ったことがあるのではないかしらと思いました。

活性化に回る元気もなかったこの夏の暑さの中でも、雨戸を開けて家の中で無事を祈る台風のさなかも、木々たちは黙ってずっと外で立ち続けているのです。真似することさえかなわない大きな大きな存在です。

メヒトヒルト・シェファアの「バッチの花療法」には、密教的な観点から見ると、人類が物理的な肉体をもってこの地上に現れたときに、植物はすでにほぼ完全に進化を終えていたので、人間の身体は、すでに進化を遂げて完成されていた植物の世界から得たエネルギーに負うところが大きいのだと書かれています。

アリスベイリーの著作にある「人間の無意識の世界と植物の世界との間には直接のつながりがある」というチベットの導師の言葉も記されています。

父を亡くした悲しみを心深くに押し込めて過ごしていた私が、思い切り泣くことができたのは、庭の木の下でした。父の声が聞こえた気がしたのも、木々のお陰だったのだとあとから気づきました。ありがとう。

まだまだ木々の声は聞こえない私ですが、自然に対してひどいことをしている私たちにそれでも寄り添ってくれる木々たちに、許しを請いながら、繋がってもらえるようお願いを続けていきたい、続けていける自分でありたいと思います。(M.O)



ぼぼる42号では「木の意識の活性化」について特集しています。是非ご覧ください。

セミナー体験記

◇「インナーハーモニゼーション I」を受講して

2年前、船戸クリニックで開催された、カルマと生まれ変わりに参加してダマヌールのことを知りました。昨年は職場が変わったため、セミナーには参加できませんでしたが、アヴェルラさんから送られてくるチラシとダマヌール通信には目を通していました。

2年ぶりに参加したダマヌールのセルフヒーリングと自己治癒のセミナーで、偶然にも仕事で連携させて頂いている、くおん先生に会場でお会いしました。

隣に座っていらした、ダマヌールのヒーリングの学校で学ばれている方からお話を聞いたり、スタッフの方からお話を聞いたりするうちに、もっと深く学びたいと思うようになりました。

インナーハーモニゼーションで学んだ手法はとてもシンプルでした。しかし、自分一人だけではなく一緒に参加された方々と調和を感じることができ、参加した日から、毎日ワークを続けています。慌ただしい現代では、家族の話をゆっくり聞く余裕や、立ち止まって景色の美しさを味わう余裕は失われつつあります。そんな中、このような自分の内面に働きかけるセミナーに参加できたのはとても有意義でした。

教えて頂いたワークも、毎朝続けています。マントラよりも古いものが母音で、それを使って自分の内面にアプローチしたり、ホロスの瞑想も教えて頂き、普段の生活でも気づきが増えました。過去に6年通ったスピリチュアルのスクールはビジネス色が強く、正直なところ、もっと早くにダマヌールに出会っていたら、また違った人生があったかもしれません。

ただ生きるのではなく、よりよく生きるということ、自分の本質につながって生きるということ、それには自分を知りたい気持ちと熱意と向上心が必要だとも教えていただきました。人間のマインドは怠惰に流れやすく、でも周りのことは気にしないで、自分がどう生きたいかにコミットメントできるかどうかことが重要だと実感しました。

円座になり、交代で周りの皆さんからエネルギーを高めていただいたり、自分が他の参加者の方のエネルギーを高めたり、その中で、つながりということも体感しました。休日フルのセミナーにも関わらず、普段の休みを挟んだ後よりも元気に仕事していたように思います。次回も楽しみにしています。(E.S.)



◇「セルフヒーリングと自己治癒」を受講して

私は血小板減少紫斑病を抱えているので、おばさんからの誘いを受けて初めてダマヌールセミナーに参加しました。2日間のセルフヒーリングのセミナーに参加してみて、「明日学校に行きたくないな」とか「明日、嫌だな」と思ったりすると実際体調が悪くなったり、お腹が痛くなったりしていたので、この先とてもためになる話を聞けたと思いました。「人に嫌われているんじゃないか」とか「人にどう思われているか」とか自分自身の恐れからのストレスや人間関係が原因で不健康になったりすることや、自分の感情や思い込みが肉体に影響を与えること、細胞に愛を与えることで健康になること、夢を意識して見られるようになったら自己治癒に繋がることなど、初めて聴く話し以外にも日々の生活で取り入れてしまう経皮毒や食品添加物の話しをわかりやすく説明して貰いました。特に美味しい＝健康ではないという言葉が身にしみました。食事をすると、ついつい健康よりも美味しさを重視してしまうので気をつけようと思いました。自分はコーラなどのジュースが飲みたい気分でも、体(細胞)は水を欲しているので体(細胞)を重視して気をつけようと思いました。どんな出来事の中にも必ずポジティブな出来事がある、と教わり自分の受け取り方によってその後の出来事がポジティブにもネガティブにもなるので、これから今回のセミナーで教わったことを生かし、ポジティブ思考を身につけて病気を克服しようと思います。(N.Y.)

来日セミナー講師紹介



アンティロペ・ヴェルベナ (Antilope Verbena)

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌールのスピリチュアルヒーラー。20年以上に渡り、ダマヌールのスピリチュアルヒーラーの学校の運営指導に関わる。

セルフ学の研究によって実現したセルフティックなキャビンを使ったヒーリングやセルフティックなペンデュラムの専門家であり、健康問題の解決に向けた確かなアドバイスには定評がある。また、時に関する研究者で、タイムトラベルやスペーストラベルの実験を行っていた時期は、自ら信じがたい体験も持つ。



フェニーチェ・フェルチェ (Fenice Felce)

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌール創立メンバーの一人。スピリチュアルヒーラー。秘教的物理学・ダウジング・インナーハーモニゼーション・セルフ学的催眠療法・

アストラトラベルのスペシャリスト、古代エジプト哲学とミステリーの研究者として国際的に活躍しています。その豊かな研究体験と深い理解と幅広い知識にあふれた講演は常に多くの参加者を魅了してやみません。

来日セミナースケジュール 2018年11月以降

2018年12月のセミナー

★【ダマヌールの占い】

～秘教的知識をもとにシンクロニシティを読む～

in 名古屋 2日間セミナー

講師：フェニーチェ・フェルチェ

開催日：12月8日(土)9日(日)

時間：両日とも 10:00～18:00

場所：ウインクあいち 8日1105号室 9日1205号室

交 「名古屋駅」より徒歩5分

参加費：40,000円(事前振込39,000円)

2018年11月のミニ講演会

★【忘れてしまった神様からの贈り物】

in 大阪 ミニ講演会

講師：フェニーチェ・フェルチェ

開催日：11月23日(金・祝)

時間：13:30～15:30

場所：新大阪丸ビル本館 401号室

交 「新大阪駅」東口より徒歩2分

参加費：3,000円

★【錬金術の科学】 in 名古屋 ミニ講演会

講師：フェニーチェ・フェルチェ

開催日：11月29日(木)

時間：18:30～20:30

場所：ウインクあいち 1008号室

交 「名古屋駅」より徒歩5分

参加費：3,000円

アンティロペ 個人セッション

セルフシックなペンデュラムを用いた健康に関する個人リーディングです。1時間 通訳付。要予約。

* 毎回、好評につきお早目にご予約ください。
時間等、詳細はお問い合わせください。

開催日：2019年2月15日(金)

時間：9:30～19:00の間で1時間

場所：リーガロイヤルホテル京都

ダマヌール日本は、世界中にあるダマヌールのセンターの一つとして、持続可能な社会を実現するための情報、より良く生きるための精神的な知識やヒーリングを日本にもたやすために1999年より活動しています。

来日セミナー・現地体験セミナー等の開催 / メールマガジン・ニュースレターの発行 / ダマヌール関連書籍やCDの紹介 / クラシックセルフの紹介 / ダマヌールのヒーリング / 樹の意識の活性化 / ダマヌールを知る会・セルフシックペインティングを観る会等の開催

HP: www.damanhur.jp

FB: <https://www.facebook.com/damanhur.jp>

2019年2月3月のセミナー

★【内面的な答えを見つける】

in 京都 2日間セミナー

申込期限：2月4日まで

講師：アンティロペ・ヴェルベナ

開催日：2月16日(土)17日(日)

時間：両日とも 10:00～18:00

場所：関西セミナーハウス

交 叡山電鉄「修学院駅」下車徒歩15分
または、地下鉄烏丸線「北山駅」から
タクシーで10分。

参加費：44,000円

* 2/4までにお振込の場合 43,000円

★【スピリチュアル物理学】

in 名古屋 2日間セミナー

講師：フェニーチェ・フェルチェ

開催日：3月16日(土)17日(日)

時間：両日とも 10:00～18:00

場所：名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)
4階 第7会議室

交 地下鉄桜通線「名古屋駅」から徳重行き
「吹上駅」下車 5番出口より徒歩5分

参加費：40,000円(事前振込39,000円)

2019年 開催決定分 予告

9月末時点で決定している日時と場所です。
テーマや会場など詳細が決まり次第、ホームページ、メルマガ、フェイスブックでお知らせします。

《ミニ講演会》

★ 日時：2月11日(月・祝) 13:30～15:30
場所：神戸市内

★ 日時：2月28日(木) 18:30～20:30
場所：名古屋市内

《2日間セミナー》

★ 日時：4月20日(土)21日(日)
両日とも 10:00～18:00
場所：名古屋市内

★ 日時：5月11日(土)12日(日)
両日とも 10:00～18:00
場所：関西セミナーハウス (京都)

● お問合せ・お申込み先

ダマヌール日本神戸センター

0798-23-9161

damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル

052-683-8233

jpjal@crux.ocn.ne.jp

ダマヌールのコミック「記憶のトランク」より(6)

アトランティスへのタイムトラベルは…

①

友よ、ようこそいらっしゃいました。私はネベル、この文明の時空の道にあなたたちをご案内します。

今からあなたたちを私たちの主要な都市の短い周遊にお連れします。気に入ってもらえるといいのですが。

ここはタイムトラベルの研究センターです。

ここは古くからある港です。見てください、上は、巨大な彫像の上に航空機が着陸します。下は船が係留します。

なんとこの階段、うわあ、いったい何段あるんだ。

さあ、石と金属の庭園です。

なんて言ってたっけ？ すべて、すべてを描かなきゃならない…

ここは全部、植物さえも、貴金属で作られました。私たちの文明は、こういった要素を鍛えて作る事がとても得意です。

②

空中に響く音が聞こえますか？ これらは風で振動する丸屋根です。

これはアトランティスの心臓です。エメラルド・タブレット。宇宙の人類全体の知恵が含まれています。

なんてこった！ この記号を全部覚えておかないといけない！

よい旅を！ そしてもっと頻りに私たちに会いに来てくださいな、オベルト。

それでは友よ、あなたたちの帰る時間です…

ありがとう、ネベル…

もう少ししたら、ニューフェースを何人が訪問させましょう！

帰ってきました。

この世のものさ！ 幸いにもまだ夜だ。

ちくしょう！ 服を盗まれた！

③

このようにすべては大きなリズムで続きました。オベルトが新しいコースの開始を告げるまでは。

人生を変えることなかでも、このことは本当に大切なように思う。

もぐもぐ

まるでそのことがもう起こったのではないみたいね！ とにかく私は興味があるわ！

なぜかわからないのだが、僕たちはみな不思議な感覚があったんだ…

メディテーションコース… それは僕がインドでやったコースのようなものかな？

僕がわかるのは… オベルトは事前には何も言っていないってこと…

それはそうとメディテーションコースっていったい何かしら？

さあ、まったく特別なことらしい。

くそっ！ 何年も前から僕たちのことを知っているのに、どうしてこんな宙ぶらりんのままにしておくんだ？

もし本当にそれが何なのかを言っても、決して信じないだろう！

④

…それからセンターに勉強しに行こう… そして少なくともこのありがたいコースのことでいらだつのをやめよう。

ブラボー！ とてもいい考えだね。

みんな、テーブルを片付けて。コーヒーを入れるよ…

明日の夜、何かとても特別なことが始まるよ、メディテーションコースだ。エメッティ、君は来るかい？

私には大きな問題とは思えないわ。あとのコースにするわ。

全然だめなの。婚約者がローマから来るのよ、2回目のレッスンから参加するわ。

もし最初のレッスンをとばしたらもう2度と参加することはできないんだよ。

うーむ… 他の機会があるかどうかまだわからないよ。

オベルト、エメッティ、コーヒーが入ったわよ！

ありがとう。いま行くよ。

エド、目を覚まして！ もうすぐコーヒーが行くから飲んで！

えーっと… オベルト… メディテーションの目的について僕たちに何が言ってもらえますか？

明日来る人はわかるだろう。21時に時間厳守で、そしてそれを望むならあなたたちの人生はもはや同じ人生ではないだろう。

次号、メディテーションコースが始まりました…